

単元の目標

- 地域に多くの外国人が住んでいることを知り、国籍が異なる人々が、文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、共に生きていくことの大切さについて考えることができる。【社会参画に関する資質能力】
- 町の人との対話を通じて様々な考え方に気づき、肯定的に受け入れることができる。【人間関係形成に関する資質能力】
- 国際社会において大切なことを感じ取り、自分の考えをよりよい形で伝えるために、創意工夫して表すことができる。【自律的活動に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準
A ◎地域理解		【地理】 ・住田町に暮らす外国の方たちとの交流を通じて町の国際化の状況について知り、自分の生き方との関わりで考え続け、更に発展させていこうと取り組むことができる。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】 ・活動を通じて感じた共通点や差異を基に現在の住田町の状況を捉え、多角的な視点を持って、より妥当な考えを見出すことができる。
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】 ・よりよい国際社会づくりに向けた取組について、相手に応じた表現や提案の仕方、発信方法を選択・決定し、取り組むことができる。
	4 ☆好奇心・探究心	【☆好】
	5 ☆困難を解決しようとする心	【☆解】
C 関人す間る関係資質形成力に	1 ☆伝え合う力	【☆伝】 ・自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。
	2 ☆協働する力	【☆協】
	3 ☆他者受容	【☆受】 ・外国の方々の思いや願い、考えを共感的に受け止め、いろいろな見方や考え方があることを理解し、異なる意見や立場を尊重しようとしている。
D 関自律的資質活動能力	1 ☆感じ取る力	【☆感】 ・他の人の考え等を聞きながら、自分自身の考えを深め、よりよい国際社会についての意見を持つことができる。
	2 ☆創出する力	【☆創】 ・感じたことや考えたことを自分の発想を生かしながら、創意工夫して表すことができる。
	3 ☆自己肯定感	【☆肯】 ・学んだことの自分にとっての意味や価値を見出し、自分の生き方につなげて考えようとする。

単元の指導

(全 7 時間)

プロセス	月	時	小単元名	主な活動内容と 関連する教科・領域	働かせたい 資質・能力			
					A	B	C	D
計画する・ 見直しを持つ	9	2	地域に住む外国人の 現状を知る	地域における国際化の状況について知る ○岩手県や住田町で生活している外国人の状況を知る。 ○単元を通して考えていくことや、まとめ振り返り段階で取り組む活動の内容について理解する。 ○交流会の流れを確認する。 ○講師への質問の内容を考える。「住田で活躍する外国人」に関わる内容 ○交流会に向けて役割分担をする。 ※講師：テリーサ先生(世田米中学校ALT)、温さん(気仙プレカット)	地理	☆多		
実施	10	2	外国の方と 交流する	地域に住む外国の方との交流会をもつ。 ○全体会→分科会→全体会 の流れで行う。 ○外国の方には、生徒の質問に答える形式で、自分のことや、出身国のことについてお話していただく。 【伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】・【相互理解】		☆多	★受	☆感
まとめ 振り返り	10	1	て、よりよい国際社会の実現に向けて、中学生ができることを考える	交流会の内容をまとめる ○交流して感じたこと、気づいたことをもとに「住田に住む外国人」というテーマでポスターや感想文にまとめる準備をする。 【伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】・【相互理解】		☆多		☆感
	10	2		成果物の作成 ○単元を通じて感じたことや学んだことを「住田に住む外国人」としてポスター等にまとめる。 【伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】・【相互理解】	↓		☆伝	☆創 ☆肯

単元の目標

- 地域に暮らす外国人の方との交流を通じて、国籍が異なる人々が文化的な違いを認め合い対等な関係で生きていくために、自分たちにできることを考えることができる。【社会参画に関する資質能力】
- よりよい国際社会実現のために、相互理解を深めながら集団での活動を行うことができる。【人間関係形成に関する資質能力】
- よりよい国際社会実現のために必要なことを見極めながら、交流会の企画に発想を生かしたり、自身の可能性に気付いたりして生き方について考えることができる。【自律的活動に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準	
A ◎地域理解		【地理】	・外国との関係を深める住田町の現状を踏まえ、住田固有のよさを継承したり、現在住田町が抱えている課題について、よりよい解決を目指したりするなど、積極的に地域の一員として生きる自分を自覚しながら取り組むことができる。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】	
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】	・交流会で収集した情報や講師の考えなどを分析して解釈し、妥当な考えとして具現化することができる。
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・よりよい国際社会実現のために必要なことについて、交流会の企画やまとめを通して具体的に提案することができる。
	4 ★好奇心・探究心	【★好】	
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	
C 関人する関係形成能力に	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・自分の考えが伝わるように、場の状況を判断しながら言葉を選ぶなどの適切な働きかけを行ったり、様々な立場や考え方を尊重しながら他者の考えを受け止めて相互理解を深めることができる。
	2 ☆協働する力	【☆協】	・集団での活動において、活動する意義や目標を捉え、互いに協力し、その中での自分の役割や責任を自覚し集団の一員として活動することができる。
	3 ★他者受容	【★受】	・外国の方々の様々な個性や立場を尊重し、広い視野に立ってよりよい国際社会を求めようとする。
D 関自律的資質能力に	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・活動を通じて自分自身の考えを深め、よりよい国際社会実現のために必要なことを見極めながら、自己の在り方について考えることができる。
	2 ☆創出する力	【☆創】	・感じたことや考えたことをもとに、交流会の企画やまとめのために発想を生かして表現することができる。
	3 ★自己肯定感	【★肯】	・学習から得た達成感や自信から、自分の良さや可能性に気付き、自分の生き方を考えていくとする。

単元の指導

(全 7 時間)

プロセス	月	時	小単元名	主な活動内容と 関連する教科・領域	働かせたい 資質・能力			
					A	B	C	D
見通しを持つ・ 計画する	9	2	自身の考えを 自覚化する	地域における国際化の状況について自身の考えを自覚化する ○前学年のインターナショナルプロジェクトの振り返りをもとに、現在の自分の考えを持つ。 ○単元を見通し、考えていくことや、まとめ振り返り段階で取り組む活動の内容について理解する。 ○交流会の流れを確認する。 ○交流会に向けて、質問の内容を考える。(仕事、食、自然、行事など、ポイントを絞って) ○質問の種類ごとにグループ分けする。	地理	☆提	☆協	☆創
実施	10	2	現状について 認識する	地域における国際化の現状について認識する ○町内の、外国とのつながりの強い企業から講師を招き、「よりよい国際社会実現のために必要なこと」のテーマのもと国際企業の現状を学ぶ。 ○地域に住むベトナムの方を招き、「よりよい国際社会実現のために必要なこと」のテーマのもと町で働く外国人の ことについてより詳しく知る。 【伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】・【相互理解】		☆多	★受 ☆伝	☆感
まとめ 振り返り	10	1	よりよい国際社会の 実現に向けて、 中学生ができることを 考える	交流会の内容をまとめる ○交流して感じたこと、気づいたことをもとに「よりよい国際社会実現のために必要なこと」というテーマでポスター や感想文にまとめる準備をする。 【伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】・【相互理解】		☆提	☆伝	☆感 ☆創
	10	2		成果物の作成 ○単元を通じて感じたことや学んだことを「よりよい国際社会実現のために必要なこと」としてポスター等にまとめ る。 【伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】・【相互理解】	↓			☆感 ☆創 ★肯